

♣グリーン電力出資金出資者
♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

グリーンコープでんき通信 VOL.69



2025年3月3日発行
一般社団法人グリーンコープでんき

「水俣・熊本みらい基金」第六期助成団体が決定！ ～『水俣』関係12団体と『熊本』関係4団体へ助成しました～

①公害の原点である水俣病事件の未来への警鐘と熊本地震からの復興と地域再生を目的に、2019年4月に“自然エネルギーの光をあつめて”をキャッチフレーズに「一般社団法人水俣・熊本みらい基金」(つんなう基金)が設立され、助成事業がスタートしました。

②設立時の団体は(一社)全国ご当地エネルギーと(一社)グリーンコープでんきでした。2020年に生活クラブがこの取り組みに賛同し社員として仲間になりました。

③「つんなう基金」の原資には、全国ご当地エネルギー協会が運営する「水俣薄原太陽光発電所」と熊本地震からの復興のために(一社)グリーンコープでんきがつくった「グリーン未来ソーラー」(GCくまもとエリア内の10カ所の施設の屋根にパネルを設置)の売電収益の一部と生活クラブからの拠出金が充てられています。

④2024年は九州電力送配電の出力抑制により売電収益が大きく減少していることから、水俣薄原太陽光発電所とグリーン未来ソーラーの売電収益から150万円(全国ご当地エネルギー100万円・グリーンコープでんき50万円)、生活クラブから300万円の拠出となっています。



16団体に
助成しました！

第六期「つんなう基金」助成団体

【水俣関係…12団体】

NPO植物資源の力/一般社団法人環不知火プランニング/TORCH/水俣病事件資料編纂委員会/水銀に関する水俣条約推進ネットワーク/水俣未来会議/
Photography Mission Minamata/
一般社団法人きぼう・みらい・みなまた/
カライモブックス/水俣写真家の眼/自然とくらし研究会

【熊本地震復興関係…4団体】

NPO法人みるくらぶ/山都の森と水を守る会/産廃処理施設建設を考える会/
FoEJapan

☀️水俣薄原太陽光発電所(低圧23区画)
＜定格出力1800kW＞



☀️グリーン未来ソーラー(低圧10カ所)定格出力 374kW





グリーンコープでんきの低圧プランの 全てが『原発フリー』に加えて 『CO2排出ゼロ』の電気になります！

グリーンコープの低圧プラン・・・ファミリープラン、オフィスプラン、低圧(動力)プラン、お昼deオール電化(25年4月1日から販売予定)

STOP！地球温暖化

再生エネ電源を増やしCO2排出ゼロの電気を使ってカーボンニュートラルへ！

グリーンコープでんきは発電時に二酸化炭素を排出しない非FIT非化石電気とFIT電気を主電源(2つ合計で全体の99.9%) ※1としていますが、地球温暖化対策推進法 ※2上では日本の電気がつくられる際に排出する二酸化炭素 ※3を排出してつくられた電気とされます。

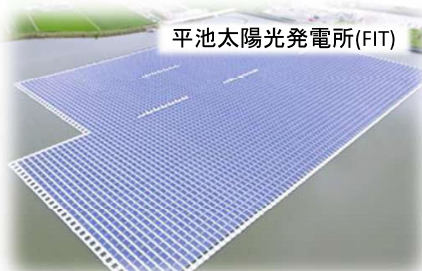
2024年度(2024年4月1日から2025年3月31日)にグリーンコープでんきの全ての低圧プランで供給している電気について、販売量分の非化石証書 ※4を取得中で、2025年度についても販売量分の証書を取得予定です。

なお、**環境価値代金としての非化石証書購入費用は別途、請求しません。**

- ※1 2023年度実績。電源構成は年ごとの調達電源によって異なる。
- ※2 温室効果ガスを一定量以上排出する事業者に対し、温室効果ガス排出量の算定と国への報告が義務付けられており、報告されたデータを国が集計・公表することを定めた法律。
- ※3 2023年度は1kWを発電するのに0.432kgの二酸化炭素を排出。
- ※4 CO2を出さない電気には「環境価値」があり、その環境価値のひとつである「非化石価値」を取り出し、証書のかたちにして売買を可能にしたのもの。

環境に負荷をかけない再生エネ発電所を増やしていきましょう

市民発電所は私たち組合員が拠出する「グリーン電力出資金」でつくられています



お昼 de オール電化プラン 登場！

お昼deオール電化プランは太陽光発電の増加により、昼間の電力供給量が需要を上回ることによって発生する余剰電力を、夜間の電力需要(エコキュートなどのヒートポンプ給湯機)から昼間の電力需要へシフトすることで昼間の余剰電力を消費し、デマンド・リスpons(DR)を実践することで、**脱炭素・脱原発を推進することを目的としたプラン**です。 **4月1日から受付開始予定**

グリーンコープでんきにオール電化のご家庭向けプランが登場します

料金設定は、旧一般電気事業者の同様プランと比較すると、安くすることはできませんが、できるだけ価格差が大きくなるように設定しました

日本国内で唯一の卸電力取引所である「日本卸電力取引所(JEPX)」での電力市場価格(スポット価格)は需要と供給で決まります。一日の中でも、人が活動を始める朝、会社や学校から帰宅する夕方(点灯時間帯)は電力の需要が多くなり、一日のうちで最も電力価格が高くなります。(図1)もうひとつ、電力市場価格に大きな影響を与えるのが、ほぼ100%を輸入に頼る化石燃料(石炭・LNG・石油)の価格です。日本の電力の70%以上は火力発電で作られているため、化石燃料の価格は発電コストに影響し電力市場価格に直結します。

オール電化住宅などのご家庭の多くは1日のうち、(かつては)電力市場価格が安かった深夜帯の電気を使ってエコキュートなどのヒートポンプ給湯機でお風呂を沸かせる設計となっています。しかし、2021年に発生した東京電力福島第一原発事故後の「再エネ発電所を増やす」という国の方針によって、特に太陽光発電による発電量が増加(図2)した一方で、原子力発電所の運転停止による発電量の減少や、化石燃料の高騰や為替相場のあおりを受けた火力発電の発電コストが上昇したことによって、近年、昼間と夜間帯の電力市場価格に差がなくなってきており、2022年度には昼夜の電力市場価格が逆転しました。(図3)

他方で、電気は溜めることができないという性質上、太陽光発電によってつくられる電気は、特に晴れた昼間などに電力需要を上回ることがあり、そのような場合は、停電防止のために「出力制御」によって発電が抑制されます。つまり、折角、発電した電気が捨てられることになっています。

今回、登場する『お昼deオール電化プラン』はこれまで主に火力発電によってつくられた夜間の電気から、昼間の本来捨てられる自然エネルギーでつくられた電気を使うことにシフトしませんか?というご提案です。

図1 <電力需給のイメージ>

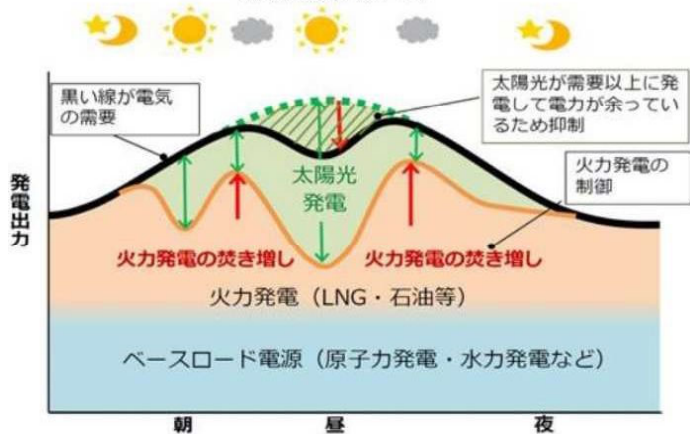
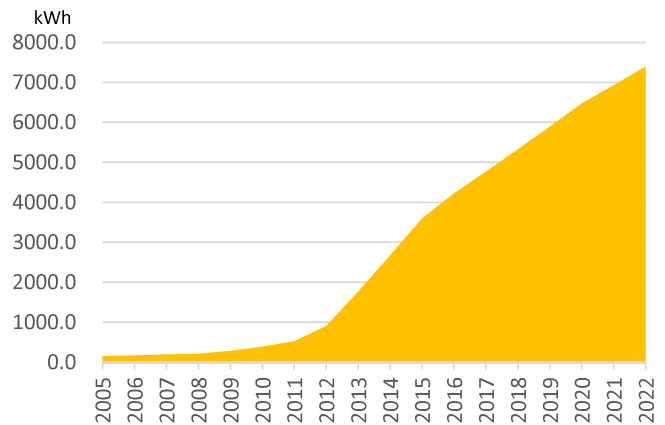


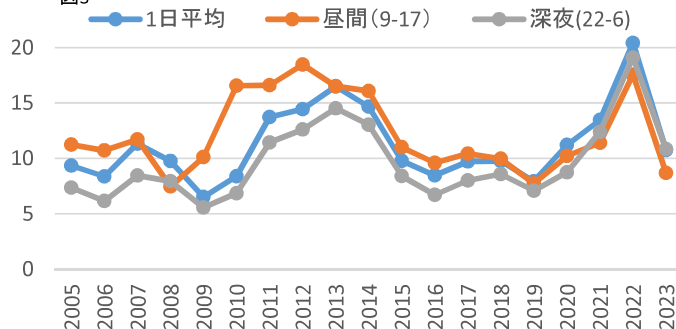
図2 <太陽光発電導入量の推移>



【出展】資源エネルギー庁:24年7月「地域と共生した再エネ導入に向けて」

【出展】資源エネルギー庁:「エネルギー白書2024」よりグリーンコープでんき作成

図3



【JEPX暦年データからグリーンコープでんきで作成】

<電力市場価格に影響した出来事>

2010	2011	2012	2016	2021
猛暑	東京電力福島第一原発事故	FIT創設	電力小売全面自由化	ロシアによるウクライナ侵攻

デマンド・リスpons(DR)とは、消費者が賢く電力使用量を制御することで、電力需給バランスを調整する仕組みです。「電力料金の削減につながる」「日本全体の燃料調達コストを抑制できる」「再エネ由来の電力を有効に使うことができる」「地球温暖化防止に貢献できる」など様々な効果が期待されます。



■グリーンコープでんき

1月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、グリーンコープ事業所、組合員契約件数、グリーンコープ商品のお取引先も含め下表のとおりです。

《 25年1月27日現在の単協別実績 》

生協名	GC事業所 契約件数	組合員 契約件数	契約容量 (kW)
GCしがまる生協	2	1	15
GC生協おおさか	8	58	295
GC生協ひょうご	6	34	160
GC生協とっとり	3	52	247
GC生協（島根）	2	107	466
GC生協おかやま	6	200	857
GC生協ひろしま	9	251	1,106
GCやまぐち生協	5	471	2,015
GC生協ふくおか	93	1,912	8,523
GC生協さが	19	122	753
GC生協（長崎）	15	219	1,179
GC生協くまもと	37	535	2,822
GC生協おおい	17	304	1,370
GC生協みやざき	8	157	661
GCかごしま生協	12	210	984
単協計	240	4,632	21,438
グリーンコープでんき(低圧)	78		659
グリーンコープでんき(高圧)	72		5,235
総合計	390	4,632	27,332

■1月の電源構成

【関西電力エリア】

ながわ小水力発電所	90.5%
三峰川第一・第二発電所	6.7%
卒FIT太陽光発電	2.8%

【中国電力エリア】

敦賀グリーンパワー	62.5%
土師ダム管理用小水力発電所	23.5%
三峰川第一・第二発電所	11.8%
卒FIT太陽光発電	2.2%

【九州電力エリア】

敦賀グリーンパワー	60.0%
古賀清掃工場	21.6%
神栖火力発電所	8.8%
三峰川第一・第二発電所	7.2%
杖立温泉熱バイナリー発電所	1.1%
卒FIT太陽光発電	1.0%
馬洗瀬小水力発電所	0.3%

※中国電力・九州電力エリアはファミリープラン・オフィスプラン・低圧（動力）の電源構成です。
 ※グリーンコープでんきのファミリープラン・オフィスプラン・低圧（動力）はその電源となる発電所を特定しています。
 ※グリーンコープでんきのファミリープラン・オフィスプラン・低圧（動力）電源には原発由来の電気は一切含まれていません。

第7次エネルギー基本計画が、2月18日に閣議決定され、確定となりました。その中の電源構成は、再エネを主力電源化を徹底するとしつつ40~50%にとどまっています。一方、原子力は20~22%、第6次までの「原子力は可能な限り低減する」という文言はなくなり、「脱炭素電源として最大限活用する」に変わっています。そのために原発再稼働の推進と新增設が盛り込まれています。それにかかる莫大な経費が国民に押し付けられるかもしれません。

■市民発電所

《 2024年12月、2025年1月の発電・売電出力制御実績 》

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)	出力制御
神在太陽光発電所	1,057	130,770	5,230,800	810分
平池水上太陽光発電所	1,260	214,569	7,724,466	180分
深年太陽光発電所	1,550	310,131	11,164,730	1440分
若宮物流センター	47	5,500	197,992	0
広島物流センター	47	6,595	237,428	0
やまぐち西部地域本部	54	6,071	194,257	0
グリーン未来ソーラー(10箇所)	374	48,752	1,023,783	621回
オンサイトPPA発電所(9箇所)	568	53,622	974,848	—
合計	4,957	776,009	25,773,456	

- ・神在太陽光発電所・平池太陽光発電所・深年太陽光発電所・グリーン未来ソーラーでは、代理制御による出力制御時間（回数）を含みます。
- ・若宮物流センター・広島物流センター・山口西部地域本部の本来制御は他オンライン発電所で代理制御されています。

グリーンコープでんき 市民発電所の2023年度との実績比

- ・発電量 24年度12月1月実績比 118.2%（118,207kWh）
- ・売電額 23年度12月1月実績比 110.0%（2,347,383円）

■グリーン電力出資金

- ・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込まれた額)は、10億5千1百37万円になっています。
- ・出資目標額(積立目標額)は、2025年1月27日現在で、10億9千2百89万円になっています。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
しがまる生協	3	3	570,000
GC生協おおさか	168	198	14,540,000
GC生協ひょうご	84	95	6,450,000
GC生協とっとり	121	137	11,720,000
GC生協（島根）	228	241	11,490,000
GC生協おかやま	157	178	14,620,000
GC生協ひろしま	625	779	83,739,000
GCやまぐち生協	527	625	39,460,000
GC生協ふくおか	4,952	5,883	509,088,000
GC生協さが	293	341	43,735,000
GC生協（長崎）	556	636	56,019,000
GC生協くまもと	1,423	1,758	132,376,000
GC生協おおい	762	875	69,124,000
GC生協みやざき	256	297	24,730,000
GCかごしま生協	650	767	75,231,000
合計	10,805	12,813	1,092,892,000

- ・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費や発電事業立ち上げのための資金（社債）に充てられています。
- ・2025年2月次支出総額は8億5千6百45万円で、残高は2億8千9百13万円となっています。
- ・市民発電所の建設と調査・検討を継続して進めています。

これまで出資いただいた金額	1,051,373,500
これまで支出した事業と金額	856,450,359
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラー発電所（10）、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所、霧島太陽光発電所、熊本菊池太陽光発電所、オンサイトPPA太陽光発電所（9）	
グリーン電力出資金の残高	208,913,479